

管理職向け 業務品質改善・向上研修 提案書



株式会社ミライズ創研
Mirise Creative Institute Ltd.

「組織の問題で苦しい思いをする人を日本中からなくしていきたい」



働き方改革を推進することは重要ですが、
そのために経営者が「ガマンと忍耐」を強いられて
いる状態を、私たちは「当たり前」とは考えていま
せん。

持続的に成長し発展する「働きやすい組織」は、
社員のためのみならず、経営者のためにも必要です。

私たちが本気で目指しているのは、
「経営者も社員も、笑顔で働ける組織創り」です。

株式会社ミライズ創研
代表取締役 森田満昭

はじめに

「管理職向け 業務品質改善・向上研修」にご興味をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

本研修は、急速に変化するビジネス環境の中で、組織全体の業務品質を向上させ、競争力を高めることを目的としています。管理職として、チームのパフォーマンスを最大化するには、現場の課題を正確に把握し、改善策を講じるスキルが必要です。また、業務プロセスの効率化だけでなく、メンバーの意識改革を促し、主体的に質の高い仕事を追求する環境を作り出すことも求められます。

本研修では、これらを実現するための具体的な方法論や実践的なスキルを、6回にわたるセッションで体系的に学びます。研修内容には、業務改善の基礎理論から、現場で直面する具体的な課題に即したケーススタディ、効果的なコミュニケーション手法までを含み、実務で即活用できる内容を重視しています。

管理職としての役割を再認識しながら、チーム全体の成長を支えるリーダーシップを養い、日々の業務にすぐに活かせる知識とヒントが得られる本研修に、ぜひご参加ください。共に業務品質の向上に取り組み、持続可能な成長を目指していきましょう。

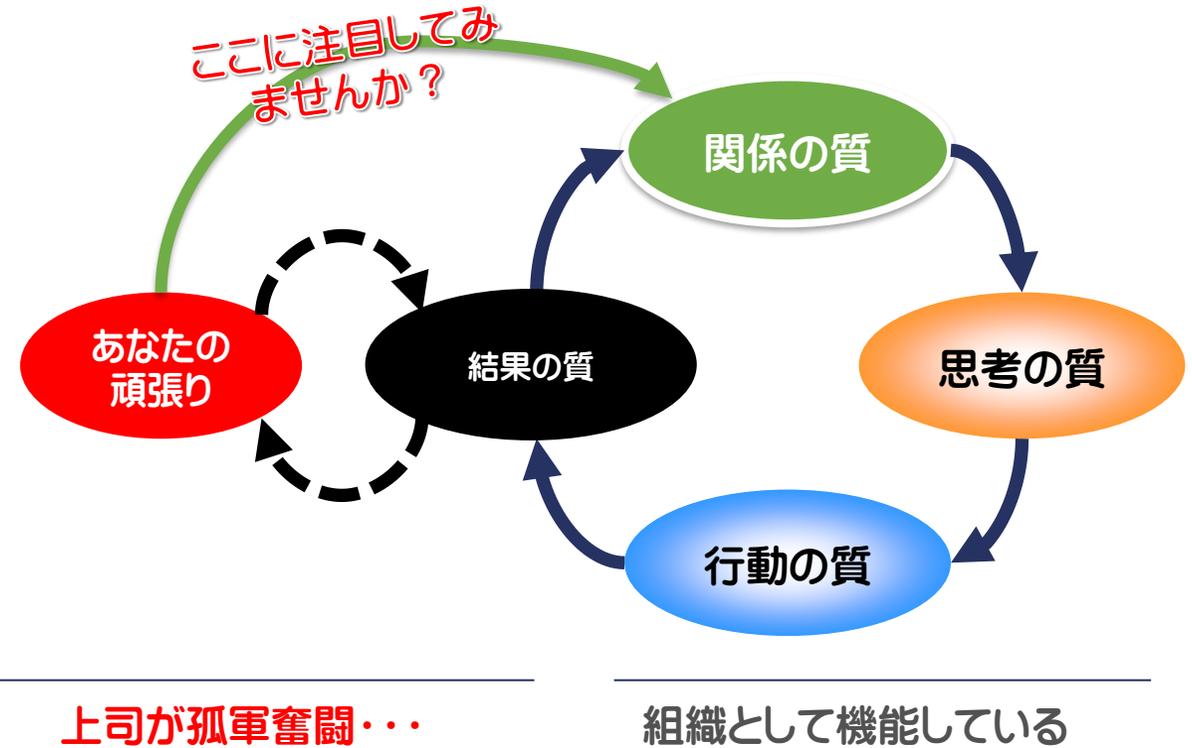
組織の成功循環モデル

- 右の図は「組織の成功循環モデル」と呼ばれるもので、組織として機能している場合は、循環が回っています。まず、「関係の質」がよいと、「思考の質」が高まり、「行動の質」が高まり、その結果として「結果の質」が高くなることが分かります。これが好循環の場合です。

- ところが最初に結果の質を求めすぎると「関係の質」が低くなり、それに伴って「思考の質」「行動の質」が低下し、当然「結果の質」が悪くなります。さらに結果を求め続けると、対立が起きたりやあきらめの声が出てくることでさらに「関係の質」が悪くなるという悪循環が回り始めます。

- それはそれで問題なのですが、経営者やマネージャーは結果が出ない場合、責任感から自分がかんがって結果を出そうとします。これを孤軍奮闘といいますが、とても孤独でつらい状況です。

- この「組織がうまく機能していない状態」を改善し、組織パフォーマンスを最大化するために、まず「関係の質」に注目してそれを高めるところから始めませんか、というのがこの理論の提唱者のKim博士とミライズ創研の提案です。



解決できる課題と期待される効果

業務品質向上と自走型組織の結びつきは、組織が持続的な成功を追求するために重要です。

こんな課題はありませんか？

- 問題の他責化がまん延している
- 組織内でのコミュニケーションや情報共有不足がある
- リーダーシップ力が不足し、組織が自立できていない
- 課題解決力や問題解決スキルが不足している
- チームがうまく協力できていない
- 経営層のリーダーシップスキルに改善の余地がある



研修を導入すると・・・

- 問題を「自分ごと」視点で捉えることができるようになる
- コミュニケーション不足が改善し、情報共有が円滑になる
- 組織が自立し、リーダーシップが強化される
- 課題解決力や問題解決スキルが向上する
- チームが協力しやすくなり、協業が促進される！
- 経営層のリーダーシップスキルが向上する



ミライズの研修の強み

本研修は、実践的な改善スキルや課題解決力を学び、チームを巻き込むリーダーシップを強化。業務品質向上を現場で実現する力を養います。

1. 現場に即応する実践的な内容

研修では、業務改善の基本理論に加えて、実際の職場で直面する課題を題材にしたケーススタディや演習を行います。例えば、非効率な業務プロセスを見直す手法や、目標に向けた具体的なアクションプランの作成を学びます。これにより、研修で得た知識を現場ですぐに適用でき、成果を実感しやすいのが特徴です。

2. 課題発見から解決までのスキルを体系的に習得

問題の本質を見抜く課題分析スキル、改善策を具体化し優先順位をつけるプランニングスキル、さらにそれを円滑に実行するためのマネジメント手法を一貫して学びます。たとえば、業務フローのボトルネックを特定し、改善提案を効果的に伝えるフレームワークも取り入れています。これにより、現場で起きる問題に的確かつ継続的に対応する能力が向上します。

3. チーム全体の力を引き出すリーダーシップの強化

研修では、メンバーを巻き込みながら改善を進める方法に重点を置いています。具体的には、部下の意見を引き出すファシリテーションスキルや、改善活動の成果を共有してモチベーションを高めるコツなどを学びます。これにより、チームが主体的に改善活動に取り組む環境を作り出し、管理職のリーダーシップが組織全体のパフォーマンス向上に直結します。

研修カリキュラム

カリキュラムは、全部で4日間。

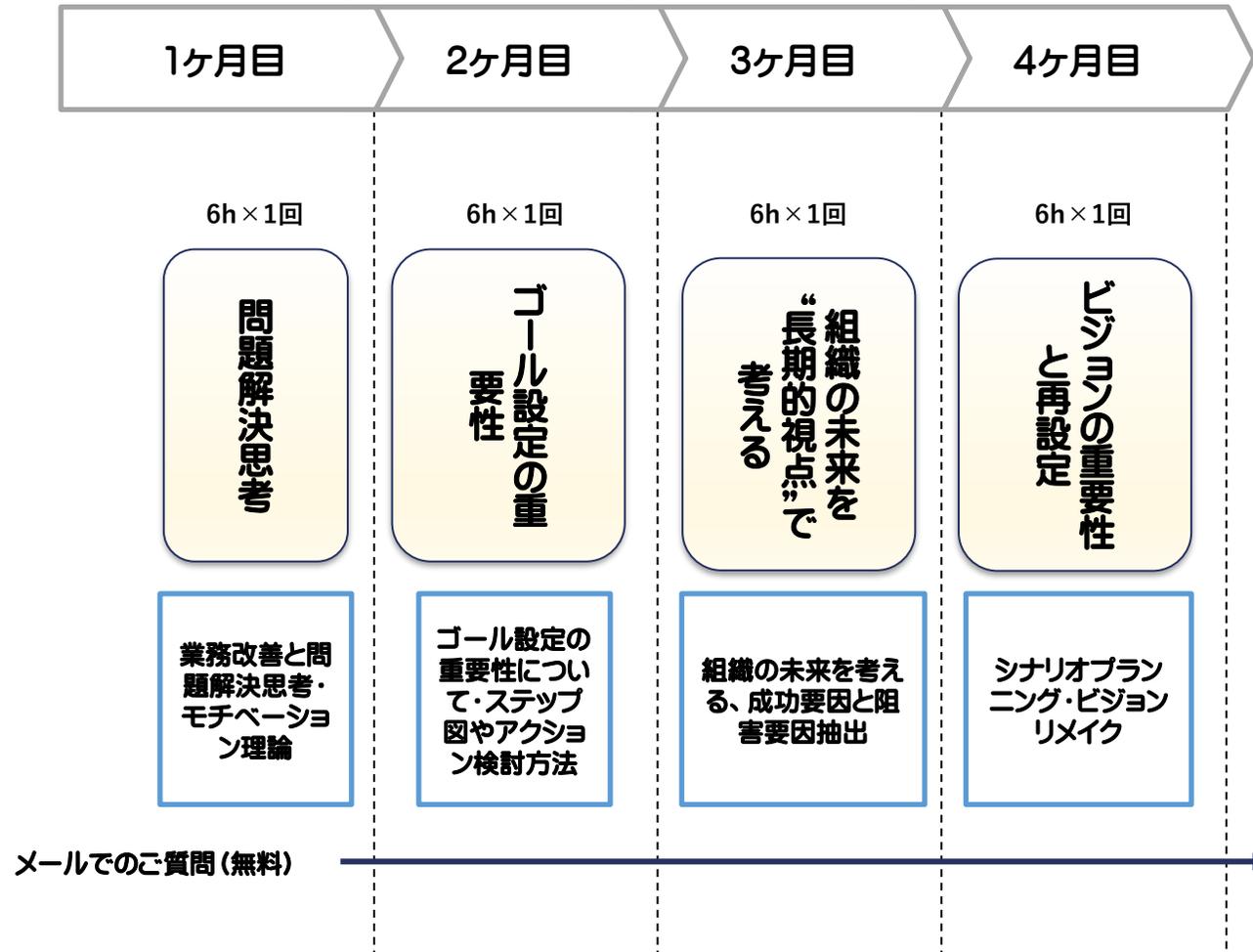
※研修実施期間中、メールでのご相談等は無料です。

カリキュラム詳細は別途資料をご参照ください

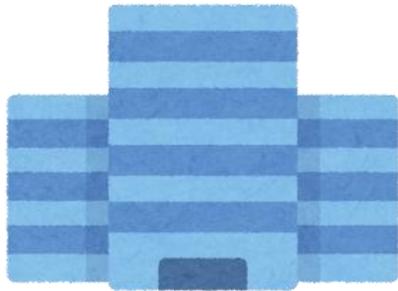
研修カリキュラム

- | | |
|-----|-------------------|
| 1日目 | 問題解決思考について |
| 2日目 | ゴール設定の重要性 |
| 3日目 | 組織の未来を“長期的視点”で考える |
| 4日目 | ビジョンの重要性とビジョン再設定 |

研修スケジュール



提供価格



研修価格

300万



提供方法

対面による集合研修

講師プロフィール

株式会社ミライズ創研 代表取締役

組織変革コーチ 森田満昭（もりたみつあき）

1957年、神戸市生まれ。マリストブラザーズ国際学校卒。
ロボット開発エンジニアの出身。

大手物流システムメーカーで30年間開発に携わり、特許17件を取得。

54歳の時、ヘッドハントにより大手企業への転職を果たすが、組織の内紛によりわずか1ヶ月で突然のリストラに遭う。

一家が路頭に迷う地獄の日々を経験し、「組織の問題で苦しむ人をこれ以上増やしたくない」という思いから、55歳で組織変革コンサルタントとして独立起業。組織変革支援を続ける中で、“利益が上がっても退職率が変わらない”という点に着目し、「経営者も社員も笑顔で働ける組織創り」を理念に掲げ、売上のみならず、職場満足度向上にもフォーカスした手法で組織変革を展開する。

フレームワークには、NLPコーチングや脳科学・心理学などを応用し、業界でも珍しい“経営者を巻き込みながら取り組む組織変革手法”が好評。職員数1200名の急性期病院や、社員数6000名の建材メーカー（東証プレミアム上場）など、一般企業だけでなく病院やものづくり企業の組織変革の支援に従事。支援した組織のトップの変容をベースに、組織力・業績の向上、多職種連携の実現、従業員満足度の向上、離職率の低下、労働生産性の向上などを実現。2018年より、「ミライズ流組織変革術 組織コンサルタント養成塾」を開塾。本質的な働き方改革を実現するためのリーダー、社内コーチ、組織コンサルタントの育成に情熱をかけて取り組んでいる。

2022年に発売した、著書「社員が自ら考え、動く 自走型組織の作り方」（幻冬舎）が新書ランキング1位を獲得



メディア実績

雑誌 MAGAZINE

「月刊人事マネジメント」

- ・ 6回連載 2022.6-12月号
- ・ メイン記事掲載 2023.06月号

出版物 PUBLICATION

「社員が自ら考え動く 自走型組織の作り方」 (書籍)
新書ランキング1位獲得

数多くの中小企業の組織変革をサポートした経験を事例とともにまとめた一冊。自走型組織へと改革するための方法をわかりやすく解説しました。幻冬舎より発売中です。



Web WEBSITE

「THE GOLD ONLINE」 幻冬舎

18回連載 -指示しなくても成果が上がる！自走型組織の作り方-

講演 SEMINER 2023年分のみ

静岡函南町商工会「自走型組織の作り方」登壇

全日本民医連「法人トップ管理者のための経営講座」登壇

著書「社員が自ら考え動く 自走型組織の作り方」

新書ランキング1位を獲得！



指示しなくても
成果が上がる！

上司も部下もストレスなく働ける！
幹部、現場リーダー、一般社員の育成術

数多くの組織を崩壊の危機から救った
凄腕コンサルタントが教える「自走型」への導き方



自走型組織とは、社員が自ら考え、動く組織のことを指します。
多くの経営者にとって、細かく指示をしなくても社員が主体的に行動し、
事業を前進させていけるような組織に成長することは一つの理想といえるでしょう。
本書では数多くの中小企業の組織変革をサポートしてきた著者が、
自走型組織へと改革するための方法を具体的な事例を交えて分かりやすく解説します。

「経営ビジョンを共有できる幹部がいない」
「部署間に軋轢がありスムーズに仕事が進まない」
「誰かが指示をしないと動かない社員が多い」
多くの経営者がこのような悩みを抱えています。
しかし、社員一人ひとりが率先して業務に取り組む自走型組織になれば、
上司も部下もストレスなく働くことができ、生産性の向上、事業の拡大や創出と、
さらなる組織の発展が可能となるのです。
これまでに著者は、コーチングマインドをベースにした
フューチャーサーチワークショップなど各組織に合った手法を活用し、
メーカーや病院など多岐にわたる業界の組織改革を実現してきました。
本書では、いかにして自走型組織へと成長すればよいのかについて
「幹部の育成」「キーパーソンとなる現場リーダーの育成」「一般社員の意識改革」
という3ステップを提案するとともに、
自走型に生まれ変わり好転した事例を紹介しています。
著者が培ってきた自走型組織の作り方はシンプルかつ実践的であり、
人材育成や組織運営、ひいては組織の継続や収益に貢献するものです。
中小企業経営者必読の一冊になっています。

会社概要



「ミライズ創研」という社名には、以下のような意味が込められています。



会社名	株式会社ミライズ創研
所在地	〒6510085 兵庫県神戸市中央区八幡通1-1-21 3階
電話番号	078-855-6555(代表)
ホームページ	https://mirise-soken.co.jp/
設立	2015年11月6日
資本金	300万円
事業内容	組織変革コンサルティング、スキルアップ研修事業、 コンサル教育事業、コーチングスクール運営事業

お申し込み方法

下記までお問い合わせください

メールでお問い合わせ

info@mirise-soken.co.jp

会社名・氏名・メールアドレスを記載のうえ、お問い合わせください。
担当者からメールでご連絡いたします

電話でお問い合わせ

078-855-6555

平日午前10時—午後5時（土日祝を除く）

ミライズの幹部層育成研修では、研修で学んだことを実際の現場で実践をし、研修の場で検証し、内省するというサイクルを回すことで、あり方ややり方が「定着」するまでを研修の中でしっかりとサポートします。